

特定非営利活動法人

スペシャルオリンピックス日本・愛媛

事務局／〒790-0967 松山市拓川町3番44号

TEL／089-941-5630

No.30

2020年 7月17日発行

新型コロナウイルスとSON・愛媛の対応！



2020年2月23日、NPO法人スペシャルオリンピックス日本・愛媛は総会を開催し、無事に終了しました。ところが一息ついたところに愛媛県内でも感染者が確認されたという報道があったので、私たちはSONの対応方針を参考にしてとりあえず3月末までのプログラム実施の自粛をお願いしました。その後この感染症はパンデミック(世界的大流行)となり、米ジョンズ・ホプキンス大学の集計によると、6月22日現在、新型コロナの感染者は900万人を超え、死者は46万9000人を上回っているということで人々の移動の自由が制限されるに至りました。

SON・愛媛ではこうした状況に鑑みて事業活動を休止してきたのです。この間、皆様はどのように過ごされましたか?周知のように国レベルでは、補償などの対策を立てず、専門家の意見も聴取せず、首相による突然の「全国一斉休校」で教育現場では大きな混乱が起き、子どもたちは身体も心もSOS。その上4月には緊急事態宣言が出され、全国的に学年末から5月末まで休校状態となりました。子どもたちや学生たちのいない学校は、寂しく辛いものでした。子ども・青年たちの明るい声、笑顔がどんなに大事であったか、あらためて実感したものです。幸い、学校は『3密』を避けながら再開されてきました。今後、子どもの生活と発達の権利保障、そして学習権保障がなされるか、きめ細やかな対策が講じられなければなりません。

スペシャルオリンピックスの活動においても、コロナウイルス感染予防のための知識と行動をていねいに伝えるとともに、楽しい生活とアスリート仲間との交流を工夫し、意欲と希望を励まし応援していく姿勢が求められます。遅ればせながら6月20日、第1回運営委員会が開かれました。場所は、愛媛県身体障がい者福祉センター2階大会議室。会場一つとっても、いつもの場所と離れてみてありがたさがよくわかりました。日野学園には感謝です。

さてこの日の協議事項は、①トレーニングプログラムを実施するための取り組み、②競技会の実施(開催)③他地区組織への競技会参加、④今後のイベント等の実施、⑤その他でした。協議用の資料が事前に配布されていたので、それにもとづいて協議。その結果、①感染症対策については、原案を生かしながら修正案を考慮し、事務局が再度まとめ直し運営委員に送付した上で決定する。②プログラムの再開にあたっては、健康観察カードへの記入をするとともに、非接触型体温計が必要になるので事務局で若干購入する。③ボウリング競技会をするのであれば、愛媛のアスリートだけで実施する。④他地区組織への競技会参加は、今年はない。⑤予定していたイベント、HAPとチャリティーゴルフは中止する。今年度予算の減額補正は行わず、年度末に収支決算をする。その他、今治ランチから会員の中で透明マスクの開発があったことが報告されました。

【 理事長 山本万喜雄 】

『ステイ・ホーム』中のSON・愛媛をご紹介します!

3月からコロナウイルスの感染予防のため、プログラムも仲間たちとの交流もできず『ステイ・ホーム』をしていましたが、その間も自宅での活動をグループラインで紹介したりしていました。

一部ご紹介いたします。

《 Be with all ~ココロ つないで~ 》

スペシャルオリンピックス日本では、活動の自粛が続く中、全国のアスリートが写真を通してお互いにメッセージを送り励まし、アスリート同士がつながっていると実感してもらえることを目的とした今回の企画にSON・愛媛のアスリートも参加しました。今頑張っているこの時を過ごしているすべての皆さんへ届けるエールとしてつないでいきます。



△渡部翔太さん



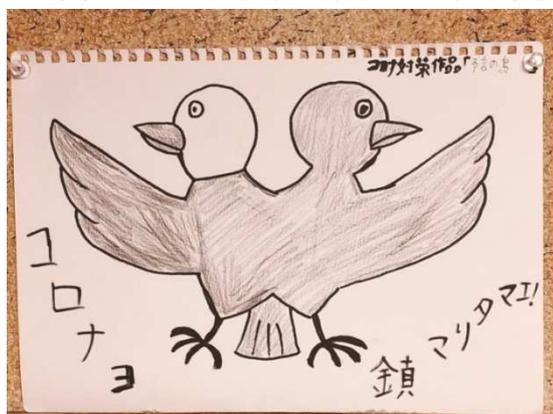
△仲神可奈子さん

・毎日運動不足解消のため、You Tube で DA PUMP 躍っています。

アマビエを描いてくれたので、玄関に貼っています。ご利益がありますように!

【 ファミリー 】

がんばろー (*^v^*)



△仕事とウォーキング以外外出できない、渡部翔太さんの切実な願いを描いた絵です。

シトラスリボンを作りました!

思いやりの輪を広げて、新型コロナウイルス感染者や医療従事者への差別をなくそうとする、「シトラスリボン運動」のリボンを作りました。【 仲神可奈子さん 】



△福島千尋さん作



・野菜の苗植えたい!クッキー作りたい!と3週間くらい前から催促されていました。昨日、娘と頑張ってみました。

【 福島さんファミリー 】

トピックス!



△ ステイ・ホームの毎日ですが、ご近所を散歩していた時の風景です。 【 村上千恵美さん 】

・ウォーキングをして、運動不足を解消しています。あと、家中掃除機をかけるのが今の仕事です。土日は近所のスーパーや100均にちょっとだけ買い物に行くのが、ちょっとした楽しみです。

【 橋本 舞さん 】

・浩樹・裕樹は、毎日コロナ感染者の数を気にして、「自粛はいつまでですか?」と言っています。本当に早く日常がかえってきて欲しいですね。

【 ファミリー 】

・私は、ガーデニングとマスク作りをしています。お手製のマスクにチコちゃんのアップリケをつけてあげると、真理さんは毎日喜んでしています。(笑)

【 ファミリー 】

チャレンジしています!

・プログラムの開始が待ち遠しいです。

わが家は親子でリメイクしていた祖母の椅子とテーブルがやっと完成しました。

木工のこいのぼりは瑛一さん、古布は母作です。

また、家庭菜園も庭も充実しました。でも、早くみんなに会いたいです。

【 村上 澄子さん 】



私の好きなこと『ステイ・ホーム』



△矢野由貴奈さん作

・私は、『ステイ・ホーム』期間中に、餃子や餃子の皮を使ったピザやお菓子のクッキー作りもしました。私が餃子と餃子ピザとクッキーを作るきっかけは、家にいる時間が多いから、家で何か作れることはないかなーと考えた結果、餃子やクッキーを作ったらどうだろうと思い作りました。

家族全員で美味しく食べました。「綺麗に作ってるね」とお母さんに褒めてもらえて嬉しかったです。これからも、新しいお料理にチャレンジしたいです。 【 矢野 由貴奈さん 】

「立体透明マスク リップリード」

聴覚障がい者が唇の動きで言葉を読み取るために考案しました。

新型コロナウイルス対策でマスク着用が広がる中、河北さんは手作りの布マスクを作っていました。5月上旬ころ、手話通訳者さんと出会い、聴覚障がい者さんとコミュニケーションを取る際、手話とともに口の動きや表情を交えて伝える必要があるのに、マスクを付けていると伝わりにくい。「病院の付き添いなどは感染が怖くて市販のマスクが外せない」という話を聞きました。

マスクを着けずに透明なフェースシールドを用いれば口元は見えるが、折りたためないため持ち運びに不便。透明マスクを作れないかと相談を受けた河北さんは、素材選びや口の動きを封じないデザインに試行錯誤を重ねました。

約一ヶ月間かけてナイロン製透明シートを立体的に加工し、使用者の顔に沿うように顎部分に調整用のボタンを付ける形にたどり着いた。折りたたむと洋服のポケットに収まるようにした。

6月上旬、県内の福祉や学校関係者の方を訪れて完成品をお披露目しました。県立松山聾学校の橋本校長先生は、「フェースシールドは照明の光が反射して教員がまぶしく感じるがあった。透明マスクは必要時にすぐに身に付けられる手軽さがあり、見た目も自然でいいですね。」と評価していただきました。

柔らかい素材のため、教員着用時に子どもが興味を持って触ってきても安全です。

手話通訳者さんのみならず、これを必要とされている方のところに届きますように願っています。

【 今治ランチ 河北 万里さん 】



SON・愛媛では、賛助会員（個人会員と企業・団体会員）さんを募集しております。

個人会員の方には年間一口3,000円からの賛助金をいただいております。企業・団体会員の方々からは年間一口10,000円からの賛助金をいただいております。

企業・団体の方々につきましては、SON・愛媛の広報誌や競技大会冊子等への広告掲載やイベント・行事での企業・団体のPR活動などもおこなえます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

発行 NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・愛媛
〒790-0967 松山市拓川町3番地44号 日野学園内
TEL・FAX 089-941-5630 メールアドレス：ehime@son.or.jp
SON愛媛 HP：http://www.son-e.com

※ このニュースレターの印刷は、富士ゼロックス四国株式会社様にご協力いただいております。